

SHP ツール バージョン 8.0.0 更新記録

2014/07/22
有限会社ジオ・コーチ・システムズ
<http://www.geocoach.co.jp/>

1. Windows8.1、Java8 対応

インストーラが Windows8 に対応しました。インストーラの名前は

GeoCoach3D-SHP-T8-**-*-setup.exe (*は数値)

となります。

インストーラを作成するソフトウェアを変更したので、インストールには数分かかる場合があります。インストール説明書も更新しました。

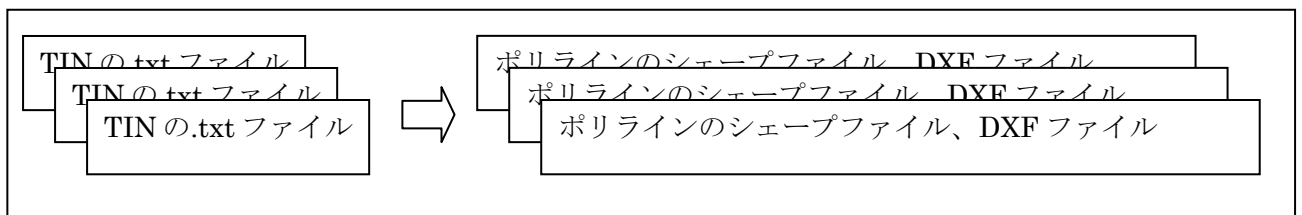
<http://www.geocoach.co.jp/download/GeoCoach3D-series-8-install.pdf>

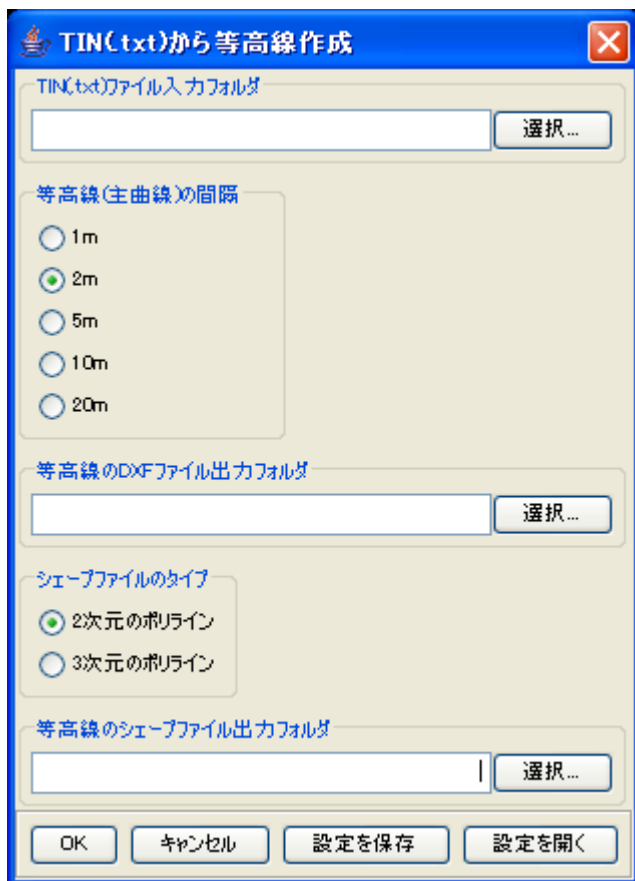
また、Java のバージョン 8(あるいは 1.8)でも動くようにしました。

2. メニュー「TIN(.txt)から等高線作成」

新メニュー「SHP へ変換」に「TIN(.txt)から等高線作成」を追加しました。TIN の .txt ファイルから等高線を発生し、ポリラインのシェープファイルを作成します。以下、説明書から抜粋です。

TIN の .txt ファイルから等高線を発生し、ポリラインのシェープファイルと DXF ファイルを作成します。





TIN(.txt)ファイル入力フォルダ

拡張子が.txtのTINファイルのフォルダを指定します。指定されたフォルダ内の.txtファイルを参照します。

等高線の間隔

作成する等高線の標高値の間隔を指定します。主曲線の間隔です。

等高線のDXFファイル出力フォルダ

等高線のDXFファイルを作成するフォルダを指定します。空白の場合はDXFを作成しません。

シェープファイルの対応

保存するシェープファイルのタイプを指定します。

等高線のシェープファイル出力フォルダ

等高線のシェープファイルを作成するフォルダを指定します。空白の場合はシェープファイルを作成しません。

TINの.txtファイル別に等高線を作成し、同じ名前の.dxf, .shpを作成します。

TINの.txtファイルについて

- ・ 一行に一個の三角形を記録します
- ・ 座標値は測量座標でYXZYXZYXZ(数学座標でXYZYXZYXZ)の順です
- ・ 3点は上空から見て反時計回り、あるいは時計回りが保存時に指定できます。
- ・ XYZ値は小数点以下3桁で、値の間にスペースを一個挿入します。(バージョン1.38までは、XY値は14コラム、Z値は12コラムで、小数点以下3桁、右詰でした)

-92681.510	22557.600	10.000	-92680.660	22555.620	12.000	-92687.160	22500.000	10.000
-92687.160	22500.000	10.000	-92686.240	22527.350	8.000	-92681.510	22557.600	10.000
-92409.640	22639.290	110.000	-92412.760	22641.500	108.000	-92409.640	22641.470	110.000
-92409.640	22641.470	110.000	-92412.760	22641.500	108.000	-92412.280	22646.750	110.000
-92412.280	22646.750	110.000	-92408.950	22647.540	112.000	-92409.640	22641.470	110.000

このフォーマットのファイルを開く際には、空白を区切りとしてリードしています。また、反時計回りか時計回りを判定し、両方に対応しています。

TIN ファイルのリードについては、上記の形式で行の先頭に整数値が入って、一行が 10 項目になっている場合にも対応しています。この場合、最初の整数値の桁数や値に制限はありません。

1	-92681.510	22557.600	10.000	-92680.660	22555.620	12.000	-92687.160	22500.000	10.000
2	-92687.160	22500.000	10.000	-92686.240	22527.350	8.000	-92681.510	22557.600	10.000
3	-92409.540	22639.290	110.000	-92412.760	22641.500	108.000	-92409.640	22641.470	110.000
4	-92409.640	22641.470	110.000	-92412.760	22641.500	108.000	-92412.280	22646.750	110.000
5	-92412.280	22646.750	110.000	-92408.950	22647.540	112.000	-92409.640	22641.470	110.000

DXF ファイルは次のレイヤにポリラインエンティティを出力します。ポリラインの Z 値に等高線の Z 値をセットします。

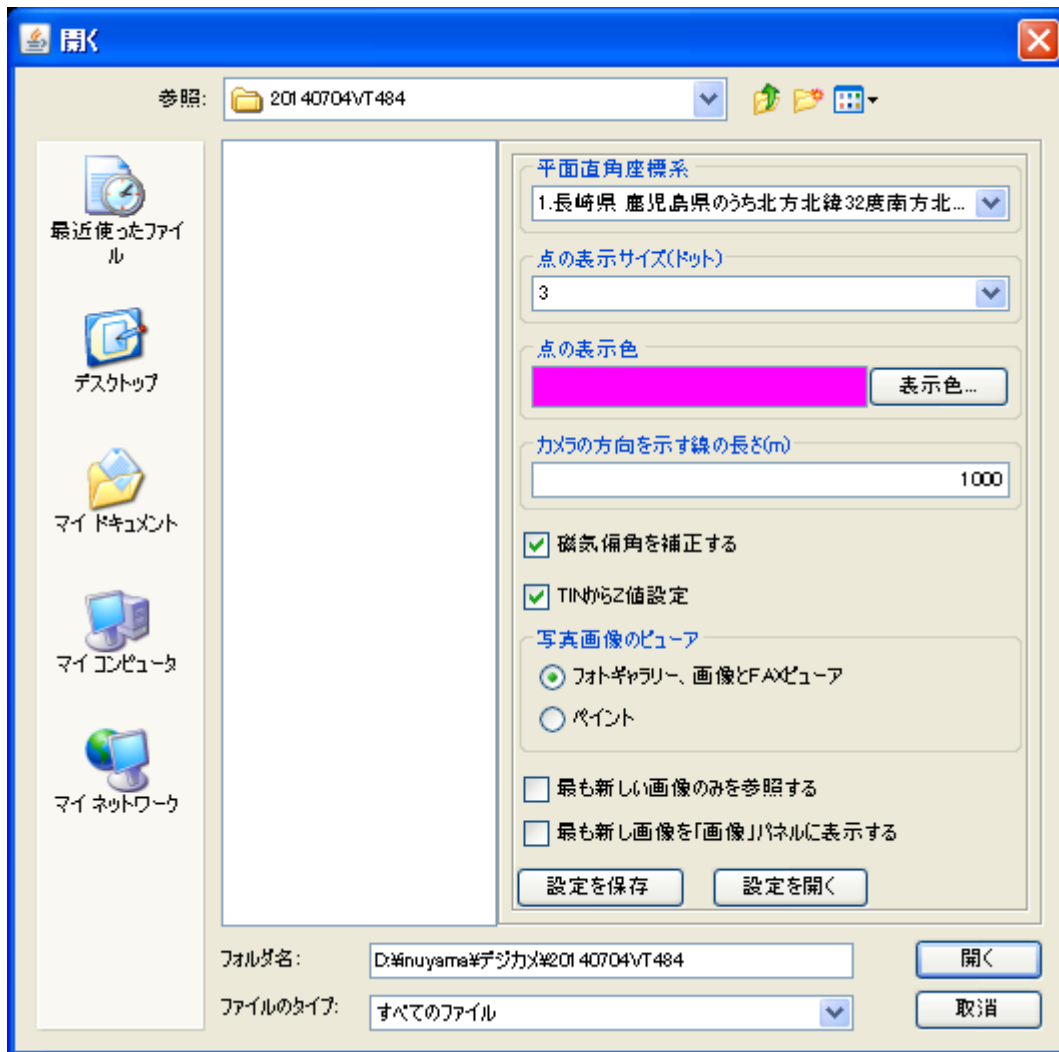
レイヤ名	色	内容
計曲線	シアン	等高線の間隔が 2m の場合、10m 間隔 等高線の間隔が 5m の場合、25m 間隔
主曲線	緑	上記以外の等高線

シェープファイルには次のフィールドを記録します。

フィールド名	型	内容
分類コード	数値	7101 (計曲線の場合) 7102 (主曲線の場合)
標高値	数値	標高値。メートル単位。

3. メニュー「開く 写真Exif」

「ファイル」メニューに「開く 写真 Exif」を追加しました。



指定したフォルダ内の JPEG ファイルを参照し、緯度経度の情報があれば、撮影位置を「3D 表示」パネルに表示します。

また、ウィンドウ右側に「画像」パネルを追加しました。「開く 写真 Exif」で表示している点を選択すると、該当する画像を表示します。



詳しくは次の説明書を見てください。

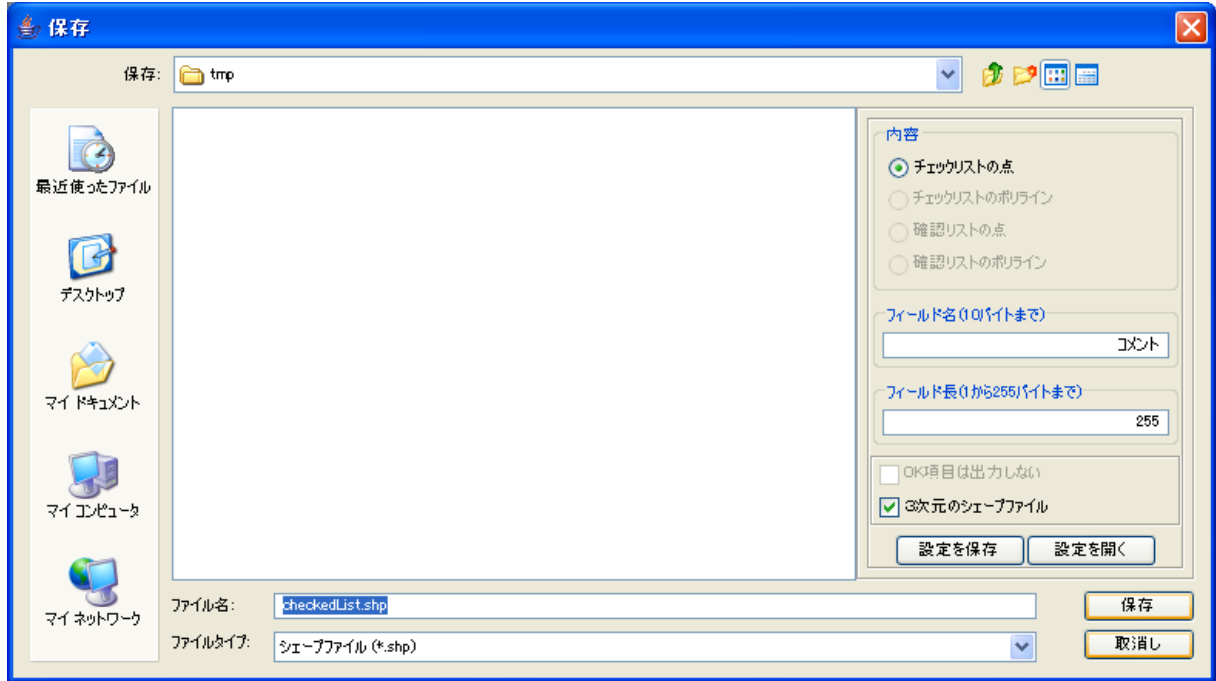
<http://www.geocoach.co.jp/download/GeoCoach3D-series-8-exif.pdf>

4. チェックリスト保存(SHP)

メニュー「ファイル」・「チェックリスト保存」・「チェックリスト保存(SHP)」を追加しました。

「チェックリスト保存(SHP)」

「チェックリスト1」「確認リスト」に表示している文字列と座標をシェープファイルに保存します。



内容

「チェックリスト 1」「確認リスト」に表示している情報のどちらを出力するかを指定します。

フィールド名

「チェックリスト」「確認リスト」に表示している文字列を記録するフィールド名を指定します。シェープファイルに記録できるフィールド名は 10 バイトまでですので、全角の場合は 5 文字までになります。

フィールド長

フィールド名で指定したフィールドのバイト数を指定します。シェープファイルのフィールドに記録できるバイト数は 1 から 255 の間です。

3次元のシェープファイル

ON の場合、3 次元のシェープファイルを出力します。OFF の場合、2 次元のシェープファイルを出力します。